

Unison ユニゾン

No.40 令和8年6月発行

Unisonとは、音楽用語で一つの旋律を複数の人が歌ったり、様々な楽器で演奏することを意味することから、すべての人が性にとらわれず、同じ立場で意見を主張できる社会の実現を願って名付けました。

★もくじ★

女性インタビュー／男女共同参画週間について	1
第5次八潮市男女共同参画プランの策定について	2
男女共同参画推進活動委託事業／フェムテックについて	3
募集・お知らせ・相談について	4

編集・発行 八潮市企画財政部人権・男女共同参画課
〒340-8588 埼玉県八潮市中央1-2-1

Tel 048-996-2111(☎内811)

Fax 048-995-7367

Mail jinken-danjo@city.yashio.lg.jp

URL https://www.city.yashio.lg.jp/



「私」らしい音楽を、貫く。



木村 美智子
Kimura Michiko



アーティスト名「MIKKO」。

自身も現役のロックボーカリストであり、現在も月に2～3本のライブでステージに立つ。市内でボイストレーナーとして活躍中であり、また令和6年から地域の要望により、ゴスペル教室を開講。市内のイベントなどで活躍中。その他デザイナー、動画編集を請け負うなど、マルチに勢力的活動を続けるその「原点」を取材しました。



木村さんがバンドボーカルを務める「スセリtradition」のライブ写真。

Q1 木村さんご自身、マルチに活動されていますが、ズバリその原動力は何でしょうか？

A 私の原動力はライブです。ジャンルもロックなので、魂のまま叫べるといところが一番の心身ともに健康になれる秘訣です。あとは、人を輝かせることが好きなので、私が背中を押した人が元気になると、私も生きる糧を得られます！

Q2 木村さんにとって『音楽』とはどのような存在でしょうか？

A 歌い始めたのが15歳の頃です。それから35年歌は常に人生の中心にあり、私を最も苦しめたのも歌でした。だからこそ、長く根性で向き合ってきたところもあるので、今は誰にも負けない歌への愛を持っています。長く向き合ったからこそその歌も歌えていると思います。

Q3 活動をしていく中で、ツライ、しんどい時、壁に直面した時、どのように乗り越えてきましたか？

A とにかくポジティブに自分を信じる、ということが一番に考えるようにしています。これ以上落ちることはない、あとは上がるのみ！といった感じに(笑)

✉ 新しいことに挑戦しようとしている方々へ、メッセージをお願いします！

A 私がフリーランスになったのは4年前ですが、これまで培ってきた、好きと得意(主に、歌とデザイン)を今は仕事にしています。はじめは、かなり不安はありましたが、好きや得意なことには情熱を注げるものなので、怯むことなく、どんどん挑戦するべきだと思います。意外にやってみることで自分の才能に気付いたりするので、まずはとにかくやってみる！！これに尽きると思います！



『長年生活をしてきた八潮を歌で、音楽で、地域の人たちも元気にしていきたい、歌でこの街をもっともっと元気に明るくしていきたい』と木村さん

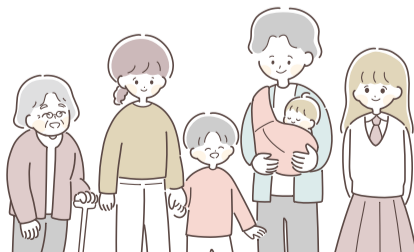
木村さん率いるゴスペル教室のメンバーで結成された「Vivity Gospel Choir」の公演前の様子。笑顔がステキです

木村さん、ありがとうございました。
今後のますますのご活躍期待しています！

令和8年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ

あなたらしさが、社会のチカラ

内閣府において、こども家庭庁の「こども若者★いけんぶらす」を活用し、中学生から20代の皆さんと一緒にキャッチフレーズを考え、上記のものが決定しました。



内閣府男女共同参画週間ポスター